

令和5年度奈良県老人福祉施設協議会 介護職員実践講座 開催要項

1. 開催目的

いま介護現場の多くが、人材不足に悩んでいます。一方で要介護高齢者の数がピークとなる時期に差しかかる2025年は目前に迫ってきています。

外国人介護職員の雇用、ICTや介護ロボットの活用、介護業務の分業化など、様々な対応策がとられてはいますが、介護職員一人ひとりの専門性を向上させ、その提供するサービスの質を高めていくことも、ますます重要視されるところです。

本講座は、超高齢社会に対応する介護職員として必要となる実践的な知識・技術・価値などの専門性を修得することを目的として開催します。

2. 主催 奈良県老人福祉施設協議会

3. 研修ポイント

- ①介護職員の実践力を身につける
- ②「介護」の素晴らしさややりがいを共有できる
- ③専門職としてキャリアアップを目指す
- ④施設・事業所の介護サービスの質が高まる

4. 研修日時 令和5年8月7日(月)・9月27日(水)・10月16日(月)・
11月13日(月)・12月19日(火) (計5日間)
10:00~16:00

※各講座日毎の参加が可能です。(別紙科目・プログラム参照)

5. 受講会場 奈良県社会福祉総合センター 5階 研修室B・C
(橿原市大久保町320番の11)

※原則、全日程集合開催としますが、今後の状況により集合開催が難しいと判断した場合は、Zoomオンライン開催に切り替わる可能性があります。
その場合は、各科目の開催日程2週間前を目安に受講生にお知らせします。
オンライン受講時は1人1台のパソコンが必要です。

6. 参加対象者 奈良県老人福祉施設協議会会員施設の介護職員・支援員等
県内介護保険事業所の介護職員等

7. 定 員 各講座日 定員60名（1施設2名まで） ※先着順

8. 受講料 会員施設 無料
会員外施設 1人 1,000円/1日

9. 申込受付締切 令和5年7月31日（月）

10. 基本タイムスケジュール（講座日により異なります）

受 付	9：30～10：00
午 前	10：00～12：30（休憩含む）
昼食・休憩	12：30～13：30（60分）
午 後	13：30～16：00（休憩含む）

11. 申込方法

- 別紙申込書に必要事項を記入の上、下記事務局へお申し込みください。
- 定員になり次第受付を終了します。
- 受付終了の連絡は本会ホームページで報告します。
- 締切後、所属長宛に決定通知（会員外施設の申込の場合は受講料請求書も含む）をご案内します。

12. 連絡事項

- 研修資料データは研修日の約1週間前にメール送信します。
- 研修資料は、各自で印刷をお願いします。

<申込・お問合せ>

〒634-0061 橿原市大久保町 320-11 奈良県社会福祉協議会内

奈良県老人福祉施設協議会 事務局（坂本・水本）

TEL：0744-29-0100 FAX：0744-29-0108

メールアドレス shisetsu@nara-shakyo.jp

<令和5年度奈良県老人福祉施設協議会 介護職員実践講座 科目・プログラム>

日程	科目とねらい	講師
1日目 8/7(月)	①介護に必要な制度の理解 ●社会保障の現状理解 ●法規（社会福祉・介護保険・虐待防止）	桃山学院大学社会学部社会福祉学科 非常勤講師 塩田 祥子 氏
	②介護の基本（尊厳・倫理） ●個別ケアと自立支援（ICF） ●高齢者の尊厳保持と権利侵害 ●介護職の職業倫理 ●家族の理解	
2日目 9/27(水)	③高齢者の病気の理解 ●発達と老化（身体的・心理的） ●高齢者に多い病気と症状 ●医療行為の範囲と介護職の役割	一般財団法人信貴山病院法人本部 経営企画室 室長 特別養護老人ホームハートランド五條 施設長代行 関本 太志 氏
	④高齢者のからだと機能訓練 ●からだの構造の理解 ●移動介助の基本と自立支援	
3日目 10/16(月)	⑤リスクマネジメントと 介護職員の健康管理 ●リスクマネジメントの理解 ●セーフティマネジメントの理解 ●介護職の健康管理とメンタルヘルス ●感染症予防	デイサービスセンターゆあほうむ榛原 センター長 松田 慶 氏 特別養護老人ホーム延寿 主任生活相談員 小河 良 氏
	⑥チームケア ●多職種の役割理解と連携 ●チームワークの高め方 （目標共有、メンバーシップ、リーダーシップなど） ●地域との連携 等	
	⑦記録の書き方 ●介護記録の意義や視点 ●介護記録の活用等	
4日目 11/13(月)	⑧認知症ケア ●認知症の医学的理解 ●認知症の心理的理解 ●認知症ケアモデル	認知症介護指導者 天理市東部地域包括支援センター 澤井 秀明 氏
	⑨口腔ケア ●摂食・嚥下のメカニズム ●高齢者の口腔疾患 ●口腔ケアの意義	
5日目 12/19(火)	⑩看取りケア ●終末期におけるケア ●多職種との連携（特に医療職） ●臨終時の対応 ●家族との関わり方	訪問看護ステーションなでしこ 所長 志茂 友紀子 氏
	⑪利用者の死の向き合い方と メンタルヘルス ●死生観 ●こころの向き合い方	